

市議会だより 第129号



住民自治組織「中津江村づくり役場」と住民のみなさん

もくじ

- 第3回定例会で審議した議案とその結果など … P 2・P 3
- 市政に反映、皆さんの声（一般質問） … P 4～P 14
- 各委員会の議案等の審査結果 … P 15・P 16
- 議会の動きなど … P 17
- インタビュー、編集後記 … P 18



令和元年 第3回(9月)定例会

9/4~9/26 23日間

本定例会では、条例の一部改正や、6億8,101万8千円を追加する令和元年度一般会計補正予算など28件の議案について審査を行い、次のとおり決定しました。

■本定例会で審議された議案とその結果

議案番号	件名	議決結果
議案第72号	日田市子育てのための施設等利用給付の対象となる認可外保育施設の範囲を定める条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第73号	日田市印鑑条例の一部改正について	//
議案第74号	日田市一般職員の給与に関する条例及び日田市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	//
議案第75号	日田市特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決(多数)
議案第76号	日田市特別職員退職手当支給条例の特例に関する条例の一部改正について	//
議案第77号	日田市分担金徴収条例の一部改正について	原案可決(全会一致)
議案第78号	日田市手数料条例の一部改正について	//
議案第79号	日田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//
議案第80号	日田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//
議案第81号	日田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	//
議案第82号	日田市立小規模保育園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	//
議案第83号	日田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//
議案第84号	日田市準用河川等占用料及び採取料徴収条例の一部改正について	//
議案第85号	子ども・子育て支援法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備について	//
議案第86号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備について	//
議案第87号	令和元年度日田市一般会計補正予算(第3号)	//
議案第88号	令和元年度日田市情報センター事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第89号	日田市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の制定について	//
議案第90号	令和元年度日田市一般会計補正予算(第4号)	//
議案第91号	日田市副市長の選任について	原案同意(多数)
議案第92号	日田市教育委員会教育長の任命について	原案同意(全会一致)
議案第93号	日田市教育委員会委員の任命について	//
議案第94号	人権擁護委員の推薦について	//
認定第1号	平成30年度日田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査(全会一致)
認定第2号	平成30年度日田市公営企業会計決算の認定について	//
意見書案第4号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	原案可決(全会一致)
議員提出議案第6号	日田市議会決算審査特別委員会の設置について	//
議員提出議案第7号	議員派遣の件について	//



市政に反映 皆さんの声



令和元年第3回定例会では、9月11日から13日の3日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ、19人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

【一般質問】

日田市自治基本条例の理念に基づいた市民参画・市民協働のまちづくりを！



市政クラブ
高倉 貴子 議員

質問 3期目の原田市政における日田市自治基本条例の位置付けについて、改めて問う。

市長 条例の理念は、行政運営を行う上でも大変重要と考える。

今後市民福祉の向上や地域課題への対応など、条例の理念に基づき市民協働を進めたい。

質問 市民のまちづくり活動への行政サポートについて問う。

部長 平成20年度のまちづくり活動推進や市民サービス協働の事業開始以来、活動数が増え、新たな団体が設立されるなど継続効果が見られるが、人手不足や資金不足等の課題もある。

質問 まちづくり中間支援の現況、自律的な活動を支援促す行政の専門的研修について問う。

部長 市内には約百の活動組織

がある。中間支援組織は把握できていないが、地域おこし協力隊の活用や伴走型支援を行なっている。国・県の研修はあるが定期的な参加はできていない。

質問 日田市制80周年事業への市民参画を問う。

部長 現在は既存事業を拡大する考えだが、市民参画や次世代育成基金の創設等については、企画できるかも含めて検討したい。



ホームページのご案内

<http://www.city.hita.oita.jp/shigikai/index.html>

日田市議会では、ホームページを開設しています。このホームページでは、市議会の結果などを掲載するほか、過去の会議録も検索できます。

また、市立淡窓図書館、各振興センター、振興局、地区公民館には、会議録を備えています。

9月定例会の会議録は、12月上旬から閲覧することができます。





【一般質問】

市民の声を真摯に受け止め
市政に反映を！



新世ひた 飯田 茂男 議員

質問 市長選挙は新人2名の得票合計が原田市長の票を5千4百票余り上回った。これは原田市政への批判や変化を望む市民の声であるが、どう受け止めるか。

市長 市民の様々な期待に応えられてなかったと心に刻む必要を感じた。3期目は期待に着実に応え、これまでの取組についても検証を行いたい。

質問 市長が広瀬知事や国等のパイプを強くアピールしても獲得し得なかった過半数の市民の声は非常に重い。その声にどのように対応するのか伺う。

市長 新人候補が掲げた政策が市民の心にヒットした部分もあった。そこが足りなかったり、非常に要望が強いことならば、

その解消に向けた施策の必要性も考え今後に生かしたい。

質問 公約に骨太方針として掲げた「新山業構想の策定」は初耳だ。果たして骨太方針と呼べるものになるか。

市長 杉檜一辺倒でなく、短期間で収益性のある薬用樹や早生樹の植栽と商品開発・バイオ発電燃料・家具等の原料利用など短期に収益を上げる仕組み等、多種多様な山づくりを進める。



【一般質問】

日田駅舎2階の利活用に向けた整備は進んでいるのか？



新世ひた 中野 哲朗 議員

質問 運営事業候補者が決定した後の事業の進捗状況を伺う。

部長 JR九州、事業候補者、市の三者で、具体的な改修工事や手順について協議している。

質問 当初の計画よりかなり遅れ、予算議決を急いだ電気・給排水工事は、着工どころか入札も済んでいないと聞く。議会への説明と異ならないか。

部長 JR九州から鉄道事業に影響を及ぼさないよう、安全面を考慮した改修工事を求められ、事業候補者の提案内容などの調整に時間を要しており、予算執行には至っていない。

質問 事業者の応募は、その時点で法人の設立がなくても可能とされたが、他の事業でもこのような取扱いはあるのか。

部長 他ではなかったと思う。

質問 事業の進め方に違和感があり、急ぎすぎだと感じる。市長は現状をどう見ているのか。

市長 想定割には、時間がかなりすぎているとの気がする。

質問 今後の見通しを伺う。

部長 JR九州との協議次第だが、事業候補者との協定、JR九州との賃貸借契約等を締結する。



事業が進まない日田駅舎2階の整備



【一般質問】

山業創造構想について
五馬高原の観光開発他



市政クラブ
岩見 泉哉 議員

質問 山業創造構想を策定するに当たり具体的に考えがあるか。

市長 従来のように50年かけ木材の収益を得るだけでなく、短期間で収益性のある薬用樹や、20年程度で成木になる早生樹を木質バイオマス発電の燃料などにして、多種多様な山造りを進めていく。

質問 近年天瀬の観光地に以前のようになにぎわいが無い。天瀬の自然資源を活用すれば、観光地に波及効果が出ないか。

市長 五馬高原は松原ダムを挟み奥日田と接する場所にある。奥日田エリアとの連携や誘客の点からも、重要な場所である。民間事業者が自然景観を生かした開発を行えば、行政として積極的な支援を行う。

住民自治組織について

質問 中津江村では、活動までの協議をどのように進めたか。

部長 通称「中津江村づくり役場」が設立された。住民の方に十分理解し納得してもらうことが重要。地域の困りごとや課題を把握する住民アンケートの実施、組織の必要性や設立に向けた協議を行う村づくり会議など22の会合の開催を支援した。



曾田の池の景色

【一般質問】

新清掃センター建設予定地の
選定と建設スケジュールは



新世ひた
三苦 誠 議員

質問 緑町の現清掃センター用地での建設は、地元との合意に至らず白紙撤回となった。今後の建設予定地の選定方法と新施設稼働までの期間を伺う。

部長 建設予定地の地元住民との合意形成が最重要と考えており、改めて公募を行い、限度額1億円の立地地域振興交付金制度を作る。また、現施設の更新期限は10年程度であり、令和10年までには稼働を開始したい。

質問 概算の事業費と補助金等を除く市の概算負担額を伺う。

部長 焼却施設60億円、リサイクル施設10億円、合計概算事業費70億円程度、市の負担額は、建設時に5億円、その後17年間にわたり毎年1億3千万円程度の起債償還が必要となる。

森林環境譲与税を活用した日田市の森づくり

質問 生産林と環境林を区分した森づくりを進めるべきであると思うが、考えを伺う。

部長 日田もリビジョンの見直しの中で生産林と環境林をイメージした森づくりを盛り込む。収益の見込めない環境林は、森林環境譲与税を活用して整備する。



水源を育む自然林



【一般質問】

市長3期目の抱負と
基本姿勢について



市政クラブ
坂本 盛男 議員

質問 僅差での市長選の結果を市長はどのように受け止めているか伺う。

市長 新人候補2人の得票数の合計が約2万票あった結果は真摯に受け止め、3期目においては市民の期待に着実に応えていくことが重要と考える。これまでの取組についてしっかり検証し、市政運営に努めたい。

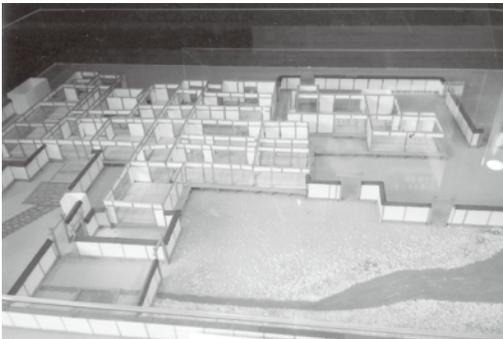
質問 咸宜園西塾及び永山布政所の活用について伺う。

教育次長 現在実施している西塾側発掘調査の結果を踏まえて、整備基本計画を策定する予定。現時点においては、具体的な活用策はない。永山布政所については、布政所の敷地の正確な範囲を特定することができず、文化財として復元・活用は非常に

難しい状況である。

質問 2期8年間の評価のうち、行財政改革の取組について伺う。

市長 第4次日田市行財政改革大綱を策定し、計画期間の5か年で一般財源ベース累計20億円の歳出削減を目標に掲げ、その結果、25億5千万円の効果額が得られ目標を達成した。



日田商工会議所による日田陣屋（永山布政所）の模型

本会議のテレビ中継

一般質問は、水郷TV（市情報センター）及びKCVコミュニケーションズで生中継し、後日、録画放映も行っていますので、是非ご視聴ください。なお、閉会日についても後日録画放映を行っています。

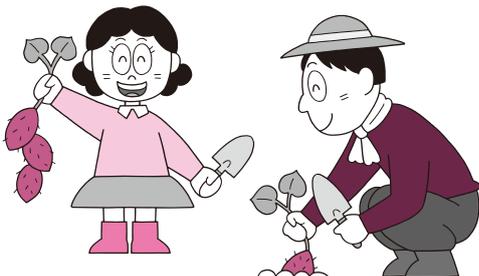


意見募集

ひた市議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお聞かせください。いただきましたご意見等は、皆様からの貴重な声として、参考にさせていただきます。

○FAX 22-8249

○メール gikai@city.hita.oita.jp





【一般質問】

介護職の人材確保のため
市独自の支援策を求めろ！



市民クラブ
梶原 信幸 議員

質問 介護職業界の人材確保に
対する市の認識を伺う。

部長 事業所から「人材確保が
難しく、将来はさらに深刻にな
る」と聞いている。そのため、
全国市長会等を通じて介護人材
の確保、給与改定について要望
をあげている。

質問 令和元年10月から介護職
に対し公費1千億円を投じる国
の新たな処遇改善策は、具体的
にどのように配分されるか伺う。

部長 経験・技能のある介護職
員、事務職員など職種が3つの
グループに分けられ、国が定め
た一定の基準に基づき一人当た
り月額8万円から2万円の処遇
改善が見込まれている。

質問 介護分野の賃金水準が全
産業の平均を下回っている状況

の中で、市独自の支援策は考えら
れないか。

部長 市は、介護職員の初任者
研修費用上限4万5千円、介護
福祉士の実務者研修費用上限12
万2千円を助成する制度を実施
している。多くの方に技能や知
識を習得してもらい介護職場を
支えてもらいたい。

質問 この他、労働者の適正な
賃金の保障について質問した。



人材確保への支援が求められる

【一般質問】

公約の子育て支援センターは
ゼロベースの考え！



新世ひた
居川 太城 議員

質問 公約の子育て支援センタ
ーは児童虐待を例にしていたが、
親への教育もセンターで行うの
か。

市長 保育士や医師、様々な支
援員が常駐し、相談などに対応
する事になると考える。

質問 日田市公共施設等総合管
理計画では、チャイルドプラザ
と児童館は令和2年度に統合・
縮小となるが市長の考えは。

市長 必要な施設であれば考え
直さなければならぬし、不必
要なら他の施設についても除却
などを考える。

質問 チャイルドプラザ及び児
童館の統合・縮小や、子育て支
援センターは既存施設の改修な
のか新規建設なのか。

市長 物を建てたいから何かを

やる訳ではなく、受け皿を作る
上で必要であれば検討する。

質問 新規建設、改修また場所
というのは想定していない、全
てゼロベースということか。ま
た、どの様なものが必要か具
体的な人員・物についてはこれ
から議論していくのか。

市長 基本的にそうなる。



中央児童館



【一般質問】

平常時に命を守る準備を！



市民クラブ 中島 章二 議員

質問 今後の防災教育、防災訓練の方針について伺う。

部長 自主防災組織での学習会や広報ひた、市のホームページによる住民への周知、防災訓練や防災教育を活動内容とするNPO法人等と協力、連携しながら住民主体の避難所運営訓練などの取組を行う。

質問 本市の小中学校における働き方改革に関する方針・計画への対応状況について伺う。

教育長 現在の取組を基本に方針等を策定し、市民にも広く周知することにより学校の働き方改革に対するご理解をいただきながら、教育活動の充実と児童生徒が安心して学べる教育環境の整備に努める。

質問 少子化等の影響で、中学

校入学時に卒業した小学校から少人数しか入学しない場合があると聞かすが、中学校通学区域の現状把握について伺う。

教育次長 現在各学校において、個別具体的に生徒に寄り添った対応を行い、心理的な負担を解消するよう努めているので、現状把握を別途行う予定はない。



【一般質問】

森林環境譲与税導入に伴う他自治体への木材産業製品売り込み促進



市政クラブ 原田 裕文 議員

質問 本年4月に森林環境譲与税が創設され、林業予算ゼロの大都市圏内自治体にも多額の譲与税が入るが、把握しているか。

部長 現時点で正確な把握はできていない。

質問 譲与税は用途が決まっており、ゼロ自治体への木材製品の売り込みが急務だが、木材業界との協力体制はできているか伺う。

部長 8月に本年1回目の日田市森林整備推進連絡協議会を開催し、検討している。

質問 産地間競争の中で、いち早く対応することが大事である。民間感覚からすれば対応が遅いと思うがどうか。

部長 早いか遅いかは、いいようがない。業界団体としっかり

議論を進めたい。

質問 学校教室を木質化した市内の団体からノウハウや経験を聞き、非木造教室の木質化とあわせて木製机等をゼロ自治体に売り込んでどうか。

部長 提案を参考にしながら、関係団体の方と協議していく。

質問 この他、みなし道路管理状況、地区公民館の公設民営化の現状と運営について質問した。



木質化した教室



【一般質問】

「子ども・子育て応援プラン」と三隈川の環境整備



市政クラブ 佐藤 功 議員

質問 放課後児童クラブにおける人件費の割合は総事業費の8割弱とされている。現状ではバラツキが大きく改善が必要である。また、繰越金の適正規模はどう指導しているのか。

部長 人件費について、同クラブと支援員等は個別に雇用契約関係があり、県下の最低賃金も根拠の一つ。また、繰越金は年間予算の5%から10%を適正規模と考えている。今後、代表者会議の中で課題を共有し、解決を図る。

質問 同クラブの運営上の課題を少なくするため、市は統一基準を作成し示すべきではないか。
市長 運営上の課題があることは承知している。県の動きもあり一元の中で考えていきたい。

質問 「子ども食堂」の取組は、

日田市社協や他自治体の対応を踏まえどう考えているか。

部長 開設に向けて何らかの支援は必要であり、現在、課題及び実態の把握を行っている。

質問 亀山公園については、全体的な整備計画を策定し、対策を考えてはどうか。

部長 樹木は、伐採・剪定を含めて前向きに協議していきたい。



亀山公園

【一般質問】

市役所窓口にお悔やみコーナーの設置を



公明党 坂本 茂 議員

質問 家族の死亡後に、遺族が行う必要な手続きが煩雑である。窓口にお悔やみコーナーを設置すべきではないか。

部長 遺族の負担が大きいということは認識している。手続きの簡素化はもとより、設置については関係課と協議をしていく。

質問 社会情勢が変化する時代でもあり、日田市人材育成基本方針については、見直しや改訂が必要ではないか。

部長 策定から4年が経ち、新しい制度等も導入されている。今後、見直しは必要だと考える。

質問 職場での上司の働きかけで、仕事に対する職員の意欲がアップするし、その意欲の大きさが職員の成長に大きく影響するものであるが、市の認識を伺う。

部長 先般から不祥事等が続けて発生したが、この点も管理職の役割が非常に大きい部分である。管理職研修の中で職員の人

材育成のためには管理職の役割が大きいということを、常に認識してもらっている。

質問 市長はどのような見解か。
市長 職員が希望を持ちながらキャリアプランを考える場づくりも行っていきたい。





【一般質問】

会計年度任用職員制度
令和2年度より開始！



市民クラブ
井上正一郎 議員

質問 市の臨時・非常勤職員の会計年度任用職員制度への移行について、条例整備等の進捗状況を伺う。

部長 すでに現在の臨時・非常勤職員の任用根拠や勤務実態の調査を完了し、今議会に関係条例を上程している。

質問 制度が開始されるまでのスケジュールについて伺う。

部長 関連する条例や規則に基づき、本年12月初旬に採用募集を開始する。令和2年2月末までに選考を終え、4月より会計年度任用職員を採用する。

質問 今回の制度改正は、臨時・非常勤職員の雇用制度の厳格化と処遇改善が目的であり、業務内容を精査し、適材適所の配置が必要となる。制度を運用

していく上で、業務の随時見直しが必要ではないか伺う。

部長 任用に当たっては、当然現場の業務実態等の把握や、定期的なヒアリングを実施し、見直しを行い適正な任用となるよう調整を図っていく。

質問 この他、日田市地域公共交通網形成計画の見直し、チエコ共和国ホドニン市への表敬訪問の経過などについて質問した。



議会をご覧になりませんか

市議会は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす（3台分）での傍聴もできます。皆さんのお越しをお待ちしています。





【一般質問】

日韓関係の悪化による
観光業の損失



日本共産党
日隈 知重 議員

質問 韓国からの観光客減を把握しているか。

部長 韓国からの観光客の宿泊客数は、今年1月から7月の速報値で6万1千人。これは昨年同時期の約83%で、今しばらく減少傾向が続く。

質問 旅館、ホテル経営への影響、パート雇用の仕事減を把握しているか。

部長 韓国からの団体客を多く受け入れていた施設ではキャンセルが相次ぎ、今後の入り込みが見込めないなど影響が出ている。韓国からの客足が途絶え、パートの仕事がなくなってしまうと聞いている。

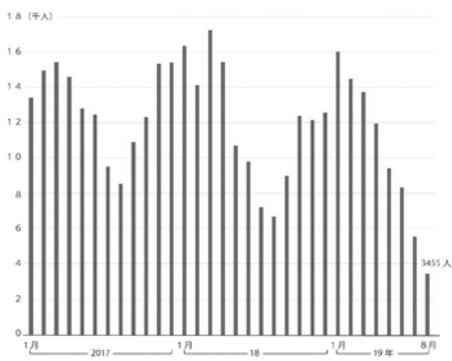
質問 観光業の損失が長期化した場合、対策を検討しているか。

部長 融資制度について県と協

議したい。台湾、香港、上海に加えて、新たにアメリカやタイからの誘客に取り組む。

質問 日韓関係悪化の原因は、安倍政権の対応にある。観光業の損失への対策を国に求めるべきではないか。

市長 国に求めるよりも誘客に努めていく。資金に困っていれば金融協会と話し対策を強める。



【一般質問】

交通手段の確保について
の方向性を



公明党
松野 勝美 議員

質問 周辺地域の方より市内循環バスひたはしり号の導入や、

お出かけ支援タクシード、交通手段の確保を願う声を聞く。市内全体の交通手段の確保に対しての方向性について伺う。

部長 日田市地域公共交通網形成計画に基づき、お出かけ支援タクシードも含め、どのような公共交通手段が望ましいのか関係の方々と一緒に考え、需要に応じた公共交通の確保に努めたい。

質問 老朽化に伴う新清掃センターの整備で、再度、候補地選定となるが、今後の日程と計画を改めて伺う。

部長 令和10年には新施設への移行を完了していく必要があるが、現施設の維持管理費増大も見込まれるので、早急に新施設

建設に向けた取組を進めたい。

質問 住民の信頼を得ることが大事である。対応を伺いたい。

部長 単に手を挙げてくださるのではなく、丁寧にやっていく。質問 この他、市長の3期目に当たっての基本方針、観光客の災害時の安全対策などを質問した。





質問 市が進める持続可能なまちづくりの取組と、SDGsとの関連性及び教育分野における取組について伺う。

市長 第6次日田市総合計画の第2期基本計画、第2期日田まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に、現状の認識と開発目標を意識しながら、SDGsを推進。行政職員研修の実施や、市民講演会などを実施したい。

教育長 持続可能な未来や、社会づくりのために行動できる人の育成を目的とした教育ESDの概念の理解と周知を図ってほしい。

質問 経済、生活面、災害時においても重要な幹線、広域農道（スカイファームロード）は国道へ格上げできないか。



持続可能な開発目標 (SDGs) 17のアイコン

市長 広域農道の活用において、本市と熊本、阿蘇方面を結ぶネットワークの強化は重要な選択肢になると考えており、県と連携を図りながらネットワークの構築に関する戦略について強く協議していきたい。

質問 この他、インバウンド観光を支えてきた韓国からの観光客の激減対策について質問。市として、直ちに具体的な観光戦略等を積極的に進めるように促した。

【一般質問】

持続可能なまちであり続ける取組を!!



市政クラブ 安達 明成 議員

【一般質問】

新清掃センター建設について伺う



市政クラブ 宮崎 陽治 議員

質問 新清掃センターは現清掃センターと比べどのような施設となり、排ガス基準等、市独自に設定するのか伺いたい。

部長 国が定める基準への適合は当然、より安全性を高めるために独自基準を設定したい。

質問 迷惑施設といわれる施設の建設に当たり、合意形成を行う中で自治会内での対立を生むことを懸念するが、どう考えるか。

部長 自治会内で議論が交わされ、合意形成に至るまでには対立が生まれることも予想される。質問 合意形成ができたところで市が介入すると考えてよいか。

部長 自治会での議論に介入し調整することは考えていないが、説明会等を行いたい。



新施設建設へ、丁寧な説明が求められる

質問 公募により市民全体で施設建設について考えることは大変良いことだが、市独自での候補地選定は行わないか。

部長 自治会の合意が一番であり、市としては考えていない。

質問 市長自ら熱意を持って合意形成に取り組む考えはあるか。

市長 重要施設であり、意思表示があれば、地元に出向きこれまで以上に丁寧な説明をしたい。



【一般質問】

学校給食センター委託料の
住民監査請求について



市民クラブ
溝口 千寿 議員

質問 学校給食センターの調

理・配送業務委託料については、
積算の趣旨に沿わない形で履行
されており、その改善を再三に
わたって問うてきた。今回の監
査請求について、結果を伺う。

事務局長 今回の監査請求につ
いては制度の趣旨を踏まえ、請
求の要旨である第三者の働き掛
けによる増額や、不当に支出さ
れた部分の補填を求めたことに
ついて、請求委任人、関係人等
の陳述、関係書類の調査等事
実関係を確認し、監査委員の合
議により監査の結果を決定した。

質問 委託料について、受託事
業者が実際にどう使うかは受託
事業者の経営判断によると述べ
られているが、これは委託業務
の中で使うべきではないか、説

明を求める。

事務局長 委託料の業務に対す
る配分は、受託業者で判断すべ
きものであるという解釈である。
質問 委託業務以外に使われた
場合はどうなるのか伺う。

事務局長 監査の対象は財務会
計上の行為で、市が業者に払う
お金であり、受託業者の使い方
は監査の対象外である。



【一般質問】

花月川河川拡幅工事と
内水氾濫の対策



日本共産党
大谷 敏彰 議員

質問 住民説明会で出された不
安に対して、国と市は内水氾濫

対策をどう考えているのか。
局長 何らかの対策が必要だが、
具体的な方針は決まっていない。
質問 花月川の河川整備計画で
の水の流量は1400ト、ハイ
ウォーターレベルは1200ト。
しかし平成29年に流れたのは1
700ト。これでは内水はけ
ない。一定規模の貯留施設を作
りポンプ排出が必要ではないか。
国と協議するのか。

局長 国との調整会議で意見を
述べていきたい。

質問 雨水対策基本計画に基づ
く貯留施設の整備をするために
準備をどう進めているのか。
局長 具体的な内容を報告でき
る段階ではないが、準備を含め

て国と連携をしていく。

日田彦山線の復旧について
質問 自治体や住民の連携など
今後どう取り組んでいくのか。
市長 沿線7自治体の連絡協議
会でも論議する。日田市でも観
光、地域振興で鉄道の在り方を
市民と考えることは必要。他の
沿線自治体との連携も踏まえ慎
重に対応したい。



日田彦山線 錆びた線路と雑草



報告

各委員会の
議案等の審査結果

●総務環境委員会●

市長の給料と退職手当は
減額すべきである

日田市特別職の職員の給与の特例に関する条例及び日田市特別職員退職手当支給条例の特例に関する条例の一部改正については、本市の財政状況を考慮し現市長の任期満了日までの間、給料及び退職手当を10%減額する特例措置を講ずるものです。

審査では、議案上程の背景、財政状況、県内他市の状況について説明を受け、「市長が政策的に減額しているもので、特別職の報酬は基本的にカットすべきではないとの特別職報酬等審議会の答申を尊重すべきである」「市長の提案からさらに削減すべきと求めるなら、副市長や教育長の給料及び退職手当、また

議員報酬の議論もする必要がある」との賛成意見がありました。

一方、「選挙後に市長が人件費削減の姿勢を貫くのであれば、市長の給料はこれまでどおり減額をすべきである」「財政状況を考慮しての提案であれば、市長の給料は減額幅を15%から10%へ減らす根拠が見当たらない」

「1期目に総人件費2割カットという公約を掲げて立候補しており、達成するまでは、市長の給料は現状の15%の削減を続けるべきである」との反対意見が出されました。

また、反対する委員から市長の給料を15%、退職手当を20%減額する修正案が提出され、裁決の結果可否同数となり、委員長裁決により修正案が可決されました。



●教育福祉委員会●

教育・保育施設利用料の
無償化が始まる

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備については、本年10月より、3歳から5歳までの幼稚園、保育所、認定子ども園等を利用する子どもたちの利用料や、0歳から2歳までの子どもたちについては、住民税非課税世帯を対象として利用料が無償化されることによるものです。

なお、審査では、本改正に伴い一部の認定区分で実施される給食費の徴収については、県内他市で予定されているように、保育の一環として無償化すべきとする意見や、交付税措置については適切に算定されるよう、各市長会に対し要望を行うべきとの意見がありました。また、制度開始にあたっては想定でき

ない事務量の増大も考えられることから、現場の声を十分受け止め、円滑な事業実施を要望して、原案のとおり可決しました。

その他補正予算では、豆田地区日田祇園山鉾収納庫整備事業について、今後実施される舗装工事や内水対策は、引き続き地元住民と十分協議を行い実施するよう要望しました。





産業建設委員会

水田の畑地化にんにく大規模生産に必要な経費を支援

水田畑地化露地野菜産地形成促進事業

(新規450万円)

県域で生産可能なキャベツ、里芋、にんにく、たまねぎを水田に作付し、畑地化をすることで、露地野菜の生産拡大及び産地化による農家所得の向上を目指すものであり、日田市では「にんにく」を対象野菜とし、大規模生産を図るために必要な経費(種苗、肥料、農機等)の支援を行うものです。

委員会では、この事業が新規事業であり、また、水田の有効利用、収益向上、産地化の観点からも継続した取組となるよう、大分県や事業者としっかりと連携していくべきとの意見がありました。

観光費(施設修繕)

(9月補正額300万円)

この予算は、観光課が所管する観光関連施設の維持管理に要する経費であり、今回の補正は、鯛生金山観光施設の排水処理施設や給水設備において不具合が生じ、早急に部品の交換が必要になったことから、不足する修繕料を増額するものです。

今回は、不具合による部品交換などの修繕が主ですが、仮に設備の全部更新となれば、多額の費用が必要となることから、日頃の定期点検を十分に行い、施設管理に万全を期すよう要望しました。



公共施設は適切な管理が望まれる

日田市副市長の選任

次の方を選任することに同意しました。
村井 尚 氏(大分市)

日田市教育委員会教育長の任命

次の方を任命することに同意しました。
三笠眞治郎 氏(天神町)

日田市教育委員会委員の任命

次の方を任命することに同意しました。
木下 靖郎 氏(大日町)

人権擁護委員の推薦

次の方々を推薦することに同意しました。
錦 みどり 氏(田島町)
大岡 平和 氏(港町)
長尾 博登 氏(刃連町)
江藤 貞雄 氏(天瀬町)
小野 博文 氏(三本松1丁目)

第4回(12月)定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

12月 3日(火)	本会議(議案説明)
10日(火)	本会議(一般質問)
11日(水)	
12日(木)	
16日(月)	本会議(議案質疑)
17日(火)	委員会(議案審査)
18日(水)	
19日(木)	
23日(月)	本会議(討論、採決)





議会の動き

第6次日田市総合計画
第2期基本計画に関する
提言書を提出

市議会では、議会内に設置している政策研究会で、『第6次日田市総合計画第2期基本計画』に必要な施策を取りまとめ、提言書として市長に提出しました。

これまで市議会では、市政に対し「子育て支援に関する提言書」や、「日田市の地方創生に関する提言書」、「婚活支援及び仕事と育児の両立支援に関する提言書」、「若者が活躍するまちづくりに関する提言書」の4つを提出しています。

これらの提言書をつくるにあたっては、関係機関や団体、高校生、若者など、様々な方と意見交換を重ねてきました。

今回、市の最上位計画である総合計画を推進するための基本計画が策定されますが、この基

本計画の策定は議決対象ではありません。そこで、これまでに提出した提言書の内容や市民からの意見が適切に反映されるよう、第2期基本計画に必要な施策を提言として取りまとめました。

今後は、この提言書の提出により、市民と行政の協働したまちづくりが一層推進されることを期待します。



秋の全国交通安全運動
― 議員が街頭活動 ―

日田市議会では、毎年春と秋の全国交通安全運動期間中に街頭

活動を行っています。

今年も、日田警察署や大分県交通安全協会日田支部のご協力により、秋の全国交通安全運動期間中の9月26日（木）午後5時過ぎから、市役所前交差点で子どもと高齢者の交通事故防止や早めのヘッドライトの点灯等呼びかけました。



公職選挙法（寄附行為）に関するQ&A

虚礼廃止にご理解とご協力を！

- Q** 議員が、従来から慣行として行われているお歳暮、お年賀などを選挙区内の市民に対して贈ることができますか。
- A** 親族に対して贈る場合を除き、寄附に当たりますので、禁止されています。
- Q** 議員が、選挙区内の市民に対して、年賀状を出すことができますか。
- A** 親族に対して行う場合及び答礼のための自筆によるものを除き、禁止されています。例えば、パソコンや裏面印刷による年賀状は、自筆によるものと認められませんので禁止されています。

この他、議員が、団体の総会や運動会などで、寸志・ご祝儀やお酒を出すこと、親族以外へ贈るお中元・病氣見舞い・入学祝いなど、従来から慣行として行われていることであっても、寄附に当たりますので禁止されています。

また、議員に対し、市民がこれらを求めることも違反となります。





表紙のみなさん

平成30年10月の設立から1年が経過した中津江村の住民自治組織「中津江村づくり役場」。

今号では中津江村づくり役場の運営に携わる方々に現在の活動内容や、今後の展望についてお話を聞きました。



永瀬事務局長

設立に至った経緯について

以前から県の小規模集落対策などで、地域での支えあいの仕組みづくりを行ってきましたが、平成29年に市から新しい公共に対する説明、提案を受け、改めて住民の中で地域のことを考える意識が高まりました。余力のある今なら、これまで取り組ん

できたノウハウを生かし、振興協議会をベースに仕組みづくりができると考え、地域のみなさんと協議しながら、今日に至っています。



合同専門部会の様子

活動内容について

組織内に5つの専門部会を立ち上げています。高齢者の見守り、関係機関との情報共有、振興協議会事務などを基本とし、月いちバザールの開催や広報の「開き読み」、防災訓練、生活道路点検など、住民が主体となって活動に取り組んでいます。

今後の展開と課題について

「笑顔がいっぱい」ずっと住み続けたい村 なかつえ」を地域の将来イメージとして、今の生活のスタイルを見直し、将

来楽しく安心して暮らせる仕組みの再構築に向けて、取り組みたいと考えています。

また、人材と財源の確保を今後の課題として捉えています。

市民のみなさんに伝えたいこと

みなさんが地域の事を自分自身の事と捉え、できるところから取り組み、住みなれた地域で元気に、楽しく、安心して生活していくために、中津江村ではみんなが主役の村づくりに取り組んでいます。

短期的な取組で終わるのではなく、長期的に継続して取り組んでいけることが大事だと考えています。



イベントに向けた話し合い

編集後記

今回は「表紙のみなさん」の取材で、設立から一周年を迎えた、中津江村の住民自治組織「中津江村づくり役場」の永瀬局長をはじめ、スタッフの皆さんにお話を伺いました。

これから少子高齢化、過疎化がますます進む中で、自分たちの住む地域は自分たちの力で何とかしたいという熱い気持ちが伝わってきました。

地域内での人と人のつながり、そして将来へつないでいくことが大事であると思いました。

(議会報編集委員会委員

宮崎陽治)

※今回の議会だよりから、文字の書体をユニバーサルデザインフォントに変更しました。今後も市民のみなさんに読みやすく、なじみやすい議会だよりづくりに取り組んでまいります。

◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局(☎028214)へ。市議会だよりは環境に優しい「植物油インク」を使用しています。

